

2011年度第5回(通算第236回)幹事校会記録

日時：2012年4月18日 15:00～17:30

場所：学校法人常翔学園大阪センター303教室

出席(11校22名)：

追手門学院大学	(井ノ口淳三)(田中耕二郎)
大阪音楽大学	(大前哲彦)
大阪産業大学	(山田全紀)(瀬島順一郎)(木村忠雄)(谷田信一)(西口利文)
関西大学	(広瀬義徳)(原徹)
関西学院大学	(冨江英俊)
近畿大学	(杉浦健)
神戸女子短期大学	(高瀬陽子)
四天王寺大学	(八木成和)
摂南大学	(朝日素明)(吉田佐治子)
桃山学院大学	(松岡敬興)(奥健太)
大阪工業大学	(酒井恵子)(疋田祥人)(西川泰行)(荻野和俊)

最初に、幹事校会に初めて参加の松岡敬興氏(桃山学院大学)、奥健太氏(桃山学院大学)、西口利文氏(大阪産業大学)、荻野和俊氏(大阪工業大学)の紹介が行われた。

議事：

(1) 前回幹事校会の記録確認

資料に基づき記録案の確認が行われ、一部修正の上これを了承した。

修正箇所(2)「全私教協理事会報告」の22行目、(修正前)田中耕二郎氏(全私教協理事)→(修正後)田中耕二郎氏(全私教協副会長代行) (2)「全私教協理事会報告」の30行目、(修正前)開放性の教員養成大学の立場や→(修正後)開放制の教員養成の立場や (5)「全私教協への対応について」の1行目、(修正前)全私教協理事である疋田祥人事務局次長、田中耕二郎氏、川地亜弥子氏から→(修正後)全私教協理事である疋田祥人事務局次長、川地亜弥子氏、全私教協副会長代行である田中耕二郎氏から

(2) 全私教協理事会報告

疋田祥人事務局次長から、第6回理事会(2012年3月18日開催)事項として、資料に基づき下記の報告があった。

・次期(2012・2013年度)役員・専門委員会委員の件

<教員養成制度検討委員会>

全私教協事務局案としては、阪神地区から疋田祥人氏(大阪工業大学)と池上徹氏(関西福祉科学大学)の2名となっていることが、報告された。

田中耕二郎氏(全私教協副会長代行)から、全私教協理事会での決定事項や審議内容が、教員養成制度検討委員会に正確に伝わっていない、または意図的に改ざんさ

れている疑いがあるとの指摘があった。

- ・ 阪神地区から3名の委員選出が可能であるという、全私教協理事会出席者の意見をふまえ、人選を行った。全私教協理事の人選との関連、阪神教協次期事務局の大阪産業大学の意向、これまでに名前が挙がった候補者などを考慮して、正田祥人氏（大阪工業大学）、谷田信一氏（大阪産業大学）、藤本敦夫氏（大阪音楽大学）の3名を選出した。

＜教員免許事務検討委員会＞

阪神地区の委員として、野田浩二氏（神戸山手大学）が提案され、了承された。

- ・ 全私教協への申し入れ書について

全私教協事務局の返答として、次期会長校選出に当たって、理事会の開催前に「玉川大学を会長校に」という根回しを、他の地区の理事にしたことについては認め、謝罪があった。しかし、阪神地区で会長校を引き受ける用意がある旨のメールに全く対応しなかったことに対しては、「正田理事個人の申し出であったため、対応しなかった」として謝罪はなかった。また、全私教協事務局の弁明と、根回しに関係した理事の証言とは食い違いが生じており、弁明自体が虚偽の可能性もある、との報告があった。

- ・ 今後の対応として、全私教協理事の人選、教員養成制度検討委員会委員の人選などにおいて考慮し、阪神教協の意向が全私教協に伝わるように努力していくこととなった。

(3) 阪神教協リポート編集について

編集担当の山田全紀氏から、阪神教協リポート No.35 の目次案が提案された。「神戸常盤大学」の誤字修正、伊達由実氏・八木成和氏の執筆者順の変更、その他細部のレイアウト変更などが指摘された。

(4) 2012年度新規加盟校について

羽衣国際大学から新規加盟の申し出があり、承認された。

(5) 2012年度定期総会および第1回課題研究会の運営について

- ・ 別冊資料に基づき、酒井恵子事務局長から報告があった。
- ・ 定期総会の次第において、次のような修正が提案され、了承された。

4. の議事

(5) (修正前) 新会長の選出 → (修正後) 新会長の承認

(6) (修正前) 新役員を選出 → (修正後) 新役員・委員の選出

(9) (修正前) 会員大学の異動 → (修正後) 会員校の異動

- ・ 2011年度定期総会の記録において、次のような修正が提案され了承された。

3行目 (修正前) 多畑寿城氏（神戸女子短期大学）→ (修正後) 多畑寿城氏（神戸女子大学）

- ・ 2012年度予算について、正田事務局次長から説明が行われた。予算案について意見

があれば、定期総会までに提案してほしいとの旨が伝えられた。

・2012年度の新役員・委員について

相愛大学より幹事校を辞退したいとの申し出があったことが報告され、承認された。会計監査委員については、多畑寿城氏ともう1名となるが、そのもう1名については、教員にお願いする予定である。相愛大学、畿央大学に打診するが、人選に関しては新旧事務局で協議することとなった。

・『阪神教協リポート』編集規定について

今回改正されたのをふまえて、総会の次第に加えることとした。

今回改正された編集規程は、2012年4月1日に遡って適用することが確認された。編集規程の5.の末尾が以下のように修正された。

(修正前) 12月31日と締切とする。→(修正後) 12月31日を締切とする。

(6) 2012年度全私教協研究大会阪神地区分科会について

酒井事務局長より、当日のスケジュールや配布資料について、説明があった。

(7) 幹事校会名簿およびメーリングリストの確認

疋田事務局次長より、メーリングリスト参加希望者がいれば申し出るようにとの説明があった。

- ・相愛大学が幹事校を辞退したのをふまえて、新たに幹事校となる大学を検討することが提案された。奈良大学、神戸学院大学などが候補として考えられ、断られれば会計監査委員に打診することも視野に入れて、この件は事務局に一任することが確認された。

(8) 今後の記録担当について

酒井事務局長から、資料に基づき、今後の担当予定について説明があった。

(9) その他

- ・原徹氏から、6月16日開催の阪神教協教員免許事務セミナーについて、資料を基に説明が行われた。
- ・大前哲彦氏から、前回、阪神教協が全私教協事務局を引き受ける際に、会長校と事務局長校を同一とする提案が受け入れられなかったため、次回引き受ける時にはこの問題を解決したい旨の提案があった。
- ・次回幹事校会は、5月16日(水)の10:45から。次々回は、7月18日(水)の15:00から大阪産業大学梅田サテライトキャンパスで行われることが決定した。